

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	介護給付適正化事業			会計	款	項	目	大	小
政 策	O4	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	介護支援課				
施 策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり		主管課長	菊池 義博				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	介護(予防)サービス利用者 居宅介護支援事業所	意図	・適正な介護サービスが受けられるようにする。 ・適正な居宅介護サービス計画が作成できるようにする。
事業内容	介護給付費の通知：介護サービス利用者に対して利用状況を通知し、介護保険への理解と事業所の不正請求防止を図る。 ケアプラン点検：市職員が居宅介護支援事業所を訪問し、ケアプランの点検及び指導を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	平成22年7月 介護給付適正化支援パッケージシステム購入 平成23年2月 流山市ケアプラン点検事業実施要領作成			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	給付費通知発送件数	18448	17989	18682	件	→→	
②	ケアプラン点検実施事業所数	4	6	5	件	↗↗		
③	不適切請求指摘件数	105	29	0	件	→→	利用者ごとに1月につき1件	
④	不適切請求による報酬返還額	1176313	283999	0	円	→→		
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 流山市ケアプラン点検事業実施要領に基づき、ケアプラン点検を実施（平成29年度 5事業所実施） 不適切請求 0件 報酬返還額 0円		
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		11,752,088	11,326,764	11,129,056	介護保険事業の適正かつ効率的な運営のために、不適切な介護給付を削減し、介護給付の適正化を図るもので、今後も継続する。			
事業費(b)(円)		4,222,088	4,461,764	4,417,056				
うち一般財源								
職員給与と費(c)(円)		7,530,000	6,865,000	6,712,000				
人役・職員(人)		1.00	1.00	1.00				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
総合評価	III 要改善（事業は継続するが、更なる改善が必要）					
	コストの削減	B 削減の余地がややある				

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	・給付費通知の発送事務を見直し、時間短縮を図る。 ・他自治体の事例を参考にケアプラン点検の方法を検討する。	③取組の課題	・ケアプラン点検については職員の異動、人数の減に伴い従前の規模での実施が不可能となっている。
②今年度(H29)に実施した取組	・給付費通知の発送事務を見直し（データの活用）時間短縮を図った。 ・ケアプラン点検の手法を自立支援に資するプランとなっているかの確認に注力する方法に変更した。	④今後(H30以降)の改善計画	・ケアプラン点検の方法については1事業所あたりの人数の変更など少数での対応を検討する。